

2025年2月10日

日本体力医学会
会員各位

日本体力医学会 倫理委員会
委員長 成田 和穂

大会における一般演題応募時の倫理的手続きについて

平素より、本学会活動にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、本学会では、2025年9月開催の第79回日本体力医学会大会（以下、第79回滋賀大会）から、一般演題に応募する際、その演題が倫理承認が必要な研究である場合は、応募の時点で倫理承認が得られていることを必須とすることになりました。なお、倫理承認が不要な研究である場合は、倫理承認の有無に関係なく演題登録が可能です。

経緯

2019年9月に日本医学会連合より、「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針（改訂第1案）」が発表となり、加盟学会の学術集会で医学系研究を発表する際は、倫理的手続きを遵守するよう求めました。日本医学会連合の加盟学会である日本体力医学会も、大会の一般演題は人を対象とした研究が多く、その多くは倫理承認が必要であることから、本指針に従い、大会の一般演題応募時に倫理承認を得ているかどうかの確認を行う検討を始めました。

しかし当時は、大会の一般演題のうち、どのぐらいの数の演題が倫理承認を得ているのか明らかではなかったため、まずは現状を把握するため、発表される研究が倫理承認を得ているかどうか、一般演題の演者にアンケート調査を実施する計画を立てました。

当初、2021年9月開催の第76回三重大会で、一般演題発表者に対して発表当日に紙ベースでアンケート調査を実施することを検討しましたが、コロナ禍で対面開催されず、2022年9月開催の第77回栃木大会もオンライン開催となったため、調査をすることができませんでした。2023年東京特別大会は一般演題の募集はなく、2024年9月開催の第78回佐賀大会で、やっと一般演題登録者に対してオンラインでのアンケート調査を実施することができました。調査は一般演題の演題登録画面で実施しましたので、回答率は100%（回答者数605）でした。

本アンケート調査結果については、第78回佐賀大会期間中の2024年9月3日に開催された評議員会・社員総会でも概要を報告いたしました。改めて説明をさせていただきます。筆頭演者の所属機関に倫理審査委員会があるのは95.5%、共同演者の所属機関は94%で、発表者のほとんどの所属機関には倫理審査委員会があることが確認できました。今回発表の演題が倫理承認を得ているかについては、承認済みが86.6%、これから申請予定4.1%、審査不要の研究3.5%、申請

中 2.4%、承認を得ていない 1.7%でした。どこの倫理審査委員会で審査を受けたかについては、筆頭演者の所属機関のみが 74.6%、筆頭演者と共同演者の両方の所属機関が 13.3%、共同演者の所属機関のみが 9.7%でした。倫理承認が必要な研究については、事前に倫理承認を得てから研究を開始するのが原則ですので、「これから申請予定」、「申請中」、「承認を得ていない」は、不適切な研究の進め方ですが、こうした演題は全体の 8.2%と少数でした。

今回のアンケート調査の結果から、ほとんどの発表者の所属機関には倫理審査委員会があり、9割の演題（審査不要を含む）は、適切な倫理的手続きを経ていたことが明らかとなりました。このため、2024年11月12日開催の本学会倫理委員会にて、第97回滋賀大会から、倫理承認が必要な研究の一般演題については、すでに倫理承認を得ている演題のみ登録を受け付けること、ならびに演題応募時に倫理承認を得ているかどうかの確認方法については大会長に一任することについて、それぞれ全会一致で可決され、2024年11月29日開催の本学会定例理事会にて承認されました。

会員の皆様へのお願い

第79回滋賀大会で一般演題の登録を予定している会員の方は、下記指針*を参照し、倫理承認が必要な研究かどうかの確認を行ってください。倫理承認が必要な研究の場合は、一般演題登録の時点で倫理承認を得ている必要があります。なお、倫理承認が不要な研究の場合は、倫理承認の有無に関係なく演題登録が可能です。

ご対応よろしくお願いいたします。

*学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針（日本医学会連合研究倫理委員会）

<https://www.jmsf.or.jp/uploads/media/2024/01/20240111133412.pdf>

以上